

禅林寺 羽村市羽東 3-16-23

当寺の開基は島田九郎右衛門という人で当地の島田氏の先祖で屋敷が寺の前向う一帯にあり、九郎右衛門が自分の寺として文禄2年（1593）に創建されました。開山は春学禅師で鎌倉円覚寺の三伯玄伊禅師の弟子です。山号は当地の旧名東谷戸（ひがしがやと）でこのあたりの地名によったもので、寺名は、鎌倉建長寺の「天下禅林」の額から二字をいただいて禅林寺としたと伝えています。本尊は如意輪観世音で、本堂天井には桃門玄鯉禅師の作、雨乞龍（あまごいりゅう）があるとのことでしたが、見ることはできませんでした。（羽村市教育委員会掲示）

この寺は『大菩薩峠』の作者中里介山居士の菩提寺です。介山居士に『遊於処処』という作品があります。その中の「故園」という文章に「禅林寺に守山和尚をたずねてみると折柄、檀家総代を集めて、観音堂建立の相談であった。和尚の案内でお堂の敷地を見せてもらい・・・」と書いてある観音堂というのがすぐ前の建物です。（境内掲示より）



道路に石柱



山門は歴史を感じる建物



本殿は意外とシンプル(残念ながら中を見ることはできなかった)



梵鐘には当寺の刻印がある



流石に玉川上水近くにあるので湧水



鬼瓦も立派



中里介山の墓の表示板で実際の墓は別に場所にある